

古文書修復実習

日時 2023年3月12日(日) 10:00~17:00、3月13日(月) 9:30~17:00
会場 日本常民文化研究所 古文書修復室(横浜キャンパス3号館地下2階)
講師 関口博巨(日本常民文化研究所所員)
白水 智(日本常民文化研究所客員研究員・中央学院大学教授)
山口悟史(日本常民文化研究所客員研究員・東京大学史料編纂所技術専門職員)
中村 慧(杉並区生涯学習推進課文化財係)
平田茉莉子(修復専門員)
内容 基本的な古文書修復技術の説明及び実習 ①現状の記録・解体(修理の準備)
②修理(繕い・裏打ち) ③復元(化粧裁ち・製本) ④下張り文書の剝離 反省会

対面での実習を再開

関口 博巨

1997年にスタートした古文書修復実習は、毎年、常民文化研究講座の一環として開催してきた。ところが、2020年3月に開催を予定していた古文書修復実習(2019年度事業)は、コロナ禍のために、開始以来はじめての中止を余儀なくされた。

コロナ禍はその後も収束の兆しをみせず、2021年3月の古文書修復実習(2020年度事業)は、2020年度実習に参加する予定だった方がたを対象として、試験的に「オンライン実習」を試み、2021年度は初めからオンライン実習を掲げて参加者の募集を行った。



写真1 現状の記録・解体/写真での記録



写真2 修理／繕い。欠損部分を補修紙で裏から埋める



写真3 修理／裏打ち。和紙を裏から張る補強

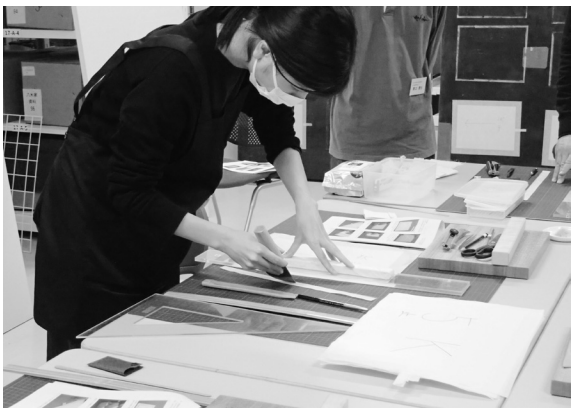


写真4 復元／化粧裁ち。余分な裏打ち和紙を裁断



写真5 剝離／襖の下張文書の剝離

そして今年度（2022年度）末の2023年3月、2018年度以来の対面での古文書修復実習を再開することができた。

当日のスケジュールは以下のとおりである（参加者12名）。

2023年3月12日（日）

10:00～17:00 基本的な古文書修復技術の説明及び実習

- ①現状の記録・解体
- ②修理（繕い・裏打ち）
- ③復元（化粧裁ち、製本）
- ④下張文書の剝離の工程実習

2023年3月13日（月）

9:30～16:30 同上

16:30～17:00 反省会

今回の受講者も、博物館や図書館などにお勤めで、日常的に古文書などの紙資料を扱っておられる方が多く、実習に真剣に取り組む様子が印象的であった。最後の反省会では、実習内容にかんする質疑はもとより、資料保存活動を進める上での課題や悩みを語り合う場にもなった。

来年度（2023年度）の実習もまた、引き続き感染症の流行状況を考慮しながら、対面実習を前提として開催を検討している。